

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 イフジ産業株式会社

コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 徳夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 原 敬

TEL 092-938-4561

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,901	5.8	162	△21.9	170	△20.5	62	△53.5
23年3月期第1四半期	2,742	—	208	—	214	—	133	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 61百万円 (△53.2%) 23年3月期第1四半期 131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.18	—
23年3月期第1四半期	24.05	—

※当社は、平成22年3月期第1四半期の連結財務諸表を作成していない為、平成23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,731	2,977	38.5
23年3月期	7,876	3,015	38.3

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 2,977百万円 23年3月期 3,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,368	△1.5	261	△32.9	268	△32.6	100	△64.5	18.16
通期	11,318	△3.6	677	△3.9	669	△6.1	305	8.0	54.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	5,563,580 株	23年3月期	5,563,580 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	7,410 株	23年3月期	7,410 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	5,556,170 株	23年3月期1Q	5,556,218 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月19日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。詳細は、本日(8月10日)開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。尚、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 追加情報	9
3. 補足情報	10
鶏卵関連事業の販売実績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下や輸出の減少、また電力供給の問題等により、厳しい状況のまま推移しました。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得の低迷により、個人消費が低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は鶏卵相場高の影響等で前年同期比5.8%増の2,901百万円となりましたが、東日本大震災で被災した当社関東工場(茨城県)が、全面復旧するまでにはほぼ1ヶ月を要した影響により、営業利益は同21.9%減の162百万円、経常利益は同20.5%減の170百万円、四半期純利益は同53.5%減の62百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響により販売数量が前年同期比10.1%減少しました。売上高につきましては、販売数量は上記のように減少したものの、鶏卵相場(東京M基準値)の平均(4~6月)が前年同期間に比べ20.4%(約37円)高く推移したことから、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価が高くなり、液卵売上高は前年同期比9.4%増の2,427百万円となりました。また加工品売上高は同2.5%増の102百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同57.0%減の56百万円となりました。この結果合計売上高は同5.6%増の2,586百万円となりました。

損益面につきましては、東日本大震災の影響による全国的な鶏卵の供給不足により鶏卵の需給がタイトに推移し、鶏卵相場の上昇等により原料買付単価が上昇しました。また、被災した関東工場が全面復旧するまでにはほぼ1ヶ月を要しました。この結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益(営業利益)は前年同期比28.2%減の124百万円となりました。

## ②調味料関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響によりカップめんや即席めんの需要が増加したことから、主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が増加し、売上高は前年同期比7.7%増の309百万円となりました。

損益面につきましては、上記のように販売が増加したことや、6S(整理・整頓・清潔・清掃・躰・節約)を推進し意識改革を行うことにより、コストの削減、生産効率の向上に努めた結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益(営業利益)は前年同期比10.6%増の36百万円となりました。

## ③その他

主に不動産賃貸業を営んでおり、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.1%減の5百万円、セグメント利益(営業利益)は同5.8%減の1百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、7,731百万円となり、前連結会計年度末に比べて145百万円減少しました。

流動資産は3,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品の増加158百万円、原材料及び貯蔵品の増加75百万円、現金及び預金の減少127百万円、受取手形及び売掛金の減少86百万円、未収還付法人税等の減少118百万円等によるものであります。

固定資産は4,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少22百万円、機械装置及び運搬具の減少27百万円等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、4,754百万円となり、前連結会計年度末に比べて106百万円減少しました。

流動負債は2,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加37百万円、短期借入金の減少72百万円等によるものであります。

固定負債は2,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少88百万円、役員退職慰労引当金の減少25百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,977百万円となり、前連結会計年度末に比べて38百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少37百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.3%から38.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年5月19日に公表いたしました内容から第2四半期累計期間のみの予想を修正しております。

詳細は本日(平成23年8月10日)別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,052	925
受取手形及び売掛金	1,645	1,558
商品及び製品	317	475
仕掛品	26	39
原材料及び貯蔵品	256	331
未収還付法人税等	130	12
繰延税金資産	64	74
その他	70	57
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	3,548	3,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,352	1,329
機械装置及び運搬具(純額)	473	445
土地	2,197	2,197
その他(純額)	22	24
有形固定資産合計	4,045	3,996
無形固定資産	22	19
投資その他の資産		
投資有価証券	39	38
繰延税金資産	196	182
その他	55	63
貸倒引当金	△31	△29
投資その他の資産合計	260	255
固定資産合計	4,328	4,271
資産合計	7,876	7,731
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540	554
短期借入金	1,312	1,239
未払法人税等	0	37
未払消費税等	6	11
賞与引当金	65	36
役員賞与引当金	—	5
災害損失引当金	261	232
その他	353	433
流動負債合計	2,538	2,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,652	1,564
役員退職慰労引当金	523	498
負ののれん	90	84
繰延税金負債	32	32
その他	22	22
<b>固定負債合計</b>	<b>2,322</b>	<b>2,202</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,861</b>	<b>4,754</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,216	2,178
自己株式	△4	△4
<b>株主資本合計</b>	<b>3,034</b>	<b>2,996</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	△18
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△18</b>	<b>△18</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,015</b>	<b>2,977</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,876</b>	<b>7,731</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,742	2,901
売上原価	2,165	2,376
売上総利益	577	524
販売費及び一般管理費	369	362
営業利益	208	162
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	2	1
還付加算金	—	3
貸倒引当金戻入額	—	3
負ののれん償却額	6	6
その他	5	0
営業外収益合計	13	14
営業外費用		
支払利息	7	7
営業外費用合計	7	7
経常利益	214	170
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
災害による損失	—	57
特別損失合計	0	57
税金等調整前四半期純利益	214	112
法人税、住民税及び事業税	71	45
法人税等調整額	9	4
法人税等合計	80	50
少数株主損益調整前四半期純利益	133	62
少数株主利益	—	—
四半期純利益	133	62



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	131	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131	61
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,450	287	2,737	5	2,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,450	287	2,737	5	2,742
セグメント利益	173	32	206	2	208

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	206
「その他」の区分の利益	2
四半期連結損益計算書の営業利益	208

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,586	309	2,896	5	2,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,586	309	2,896	5	2,901
セグメント利益	124	36	160	1	162

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	160
「その他」の区分の利益	1
四半期連結損益計算書の営業利益	162

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 補足情報

## 鶏卵関連事業の販売実績

(単位：百万円)

期別 区分	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		比較増減 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
生液卵	1,926	78.6%	2,132	82.4%	205	10.7%
凍結卵	292	11.9%	294	11.4%	2	0.9%
液卵計	2,219	90.5%	2,427	93.8%	208	9.4%
卵加工品	99	4.1%	102	4.0%	2	2.5%
その他	131	5.4%	56	2.2%	△74	△57.0%
合計	2,450	100.0%	2,586	100.0%	136	5.6%